



2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年11月4日

上場会社名 株式会社エイチワン 上場取引所 東
 コード番号 5989 URL http://www.h1-co.jp/
 代表者（役職名）代表取締役社長執行役員（氏名）金田 敦
 問合せ先責任者（役職名）取締役専務執行役員管理本部長（氏名）太田 清文（TEL）048-643-0010
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	71,450	△22.7	△743	—	△1,087	—	△1,897	—	△1,032	—	241	—
2020年3月期第2四半期	92,394	△4.6	2,142	△44.5	1,797	△46.4	971	△57.4	1,126	△49.5	△1,311	—
	基本的1株当たり四半期利益				希薄化後1株当たり四半期利益							
			円 銭				円 銭					
2021年3月期第2四半期			△36.81				△36.38					
2020年3月期第2四半期			39.95				39.69					

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	156,145	63,157	58,220	37.3	2,074.49
2020年3月期	155,173	63,272	57,946	37.3	2,065.50

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2021年3月期	—	12.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	166,000	△9.1	1,600	△55.5	900	△66.1	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
 ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	28,392,830株	2020年3月期	28,392,830株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	327,645株	2020年3月期	338,507株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	28,058,503株	2020年3月期2Q	28,200,819株

- (注) 期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)制度に関する株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式(2021年3月期第2四半期末 326,100株、2020年3月期末 337,000株)が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)制度に関する株式会社日本カストディ(信託E口)が所有する当社株式の期中平均株式数(2021年3月期第2四半期 332,808株、2020年3月期第2四半期 190,530株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等その他の関連する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の影響により急激に落ち込んだ世界経済が第1四半期(4月～6月)に底を打ち、第2四半期(7月～9月)では持ち直しの動きが続きました。

自動車業界においても第1四半期は大半の地域で自動車の生産及び販売が急減しましたが第2四半期には徐々に回復に向かいました。

そのような中での当第2四半期連結累計期間の経営成績は、前年同四半期に比べ当社グループの主力得意先向けの自動車フレームの生産台数が約15.2%減少したことなどによって売上収益は714億50百万円(前年同四半期比22.7%減)、売上総利益が56億78百万円(同41.2%減)となり、販売費及び一般管理費は前年同四半期比で減少したものの営業損失が7億43百万円(前年同四半期は営業利益21億42百万円)となりました。また、持分法による投資利益の減少もあり、税引前四半期損失が10億87百万円(前年同四半期は税引前四半期利益17億97百万円)、親会社の所有者に帰属する四半期損失が10億32百万円(前年同四半期は親会社の所有者に帰属する四半期利益11億26百万円)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

①日本

主力得意先向けの自動車フレームの生産量が前年同四半期に比べて減少したことから売上収益が205億66百万円(前年同四半期比22.0%減)、税引前四半期利益が4億85百万円(同40.4%減)となりました。

②北米

第2四半期(7月～9月)は自動車フレームの生産量が前年同四半期を上回りましたが、第1四半期に生産が落ち込んだことを背景に売上収益が247億29百万円(前年同四半期比36.0%減)、税引前四半期損失が17億75百万円(前年同四半期は税引前四半期利益96百万円)となりました。

③中国

主力得意先向けの自動車フレームの生産量が前年同四半期に比べて大きく増加し売上収益は250億29百万円(前年同四半期比16.8%増)、税引前四半期利益は20億97百万円(同17.6%増)となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間から東風愛機汽車プレス部品有限公司を持分法適用会社に含めております。

④アジア・大洋州

自動車フレームの生産は第1四半期を底に第2四半期は徐々に持ち直していますが、全体として生産量が前年同四半期を大きく下回ったことから売上収益は49億16百万円(前年同四半期比58.2%減)、税引前四半期損失は16億85百万円(前年同四半期は税引前四半期損失6億9百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における連結財政状態は、資産合計が1,561億45百万円(前連結会計年度末比9億71百万円増)となりました。これは現金及び現金同等物、有形固定資産などが減少した一方で営業債権及びその他の債権、棚卸資産などが増加したことによるものであります。

負債合計は、929億87百万円(同10億86百万円増)となりました。これは主に借入金が増加した一方で営業債務が増加したことによるものであります。

資本合計は、631億57百万円(同1億15百万円減)となりました。これは主に為替相場の円高によるその他の資本の構成要素の減少、親会社の株主に帰属する四半期損失の計上によるものであります。親会社の所有者に帰属する持分比率は37.3%(同0.0ポイントのマイナス)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業債権及びその他の債権の増加、有形固定資産の取得による支出、短期借入金の減少等の資金の減少要因があった一方、減価償却費及び償却費、営業債務の増加、長期借入金の増加等の資金の増加要因によって31億25百万円(前年同四半期比5億80百万円増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ33億60百万円(61.3%)減少の21億18百万円となりました。これは主に税引前四半期損失の計上や営業債権及びその他の債権の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、前年同四半期に比べ12億44百万円(22.9%)増加の66億71百万円となりました。これは、持分法で会計処理されている投資の取得による支出などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、49億56百万円(前年同四半期は1億25百万円の収入)となりました。これは主に短期借入金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、通期連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

2021年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的1株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	165,000	300	△500	△1,400	△49.90
今回修正予想 (B)	166,000	1,600	900	0	0.00
増減額 (B-A)	1,000	1,300	1,400	1,400	—
増減率 (%)	0.6	433.3	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	182,659	3,594	2,657	1,223	43.45

(修正の理由)

2021年3月期は新型コロナウイルスの影響により中国を除く地域で自動車フレームの販売が前期に比べて大幅に減少することを見込んでおりますが、第2四半期連結累計期間の業績を踏まえるとともに下期における生産量の回復や生産コストの改善などを勘案し、売上収益、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益を修正いたします。

なお、下期の為替レートは、1ドル=105円を前提としております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	12,704	3,125
営業債権及びその他の債権	21,272	30,427
棚卸資産	21,326	23,403
その他の金融資産	2,773	2,166
その他の流動資産	2,495	2,428
流動資産合計	60,572	61,550
非流動資産		
有形固定資産	80,639	78,571
無形資産	914	953
投資不動産	2,323	2,323
持分法で会計処理されている投資	4,339	5,950
退職給付に係る資産	319	1,227
その他の金融資産	5,185	4,577
繰延税金資産	574	603
その他の非流動資産	304	387
非流動資産合計	94,600	94,594
資産合計	155,173	156,145

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債及び資本		
流動負債		
営業債務	15,718	20,658
借入金	31,239	23,996
未払法人所得税等	248	523
その他の金融負債	3,387	3,436
その他の流動負債	6,663	7,760
流動負債合計	57,256	56,374
非流動負債		
借入金	22,978	25,684
退職給付に係る負債	8,939	7,966
その他の金融負債	1,537	1,483
繰延税金負債	879	1,116
その他の非流動負債	309	360
非流動負債合計	34,644	36,613
負債合計	91,900	92,987
資本		
資本金	4,366	4,366
資本剰余金	13,054	12,928
利益剰余金	47,564	46,166
自己株式	△253	△244
その他の資本の構成要素	△6,785	△4,996
親会社の所有者に帰属する 持分合計	57,946	58,220
非支配持分	5,326	4,936
資本合計	63,272	63,157
負債及び資本合計	155,173	156,145

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	92,394	71,450
売上原価	△82,739	△65,772
売上総利益	9,654	5,678
販売費及び一般管理費	△7,789	△6,678
その他の収益	380	363
その他の費用	△102	△106
営業利益(△は損失)	2,142	△743
金融収益	98	84
金融費用	△648	△417
持分法による投資利益(△は損失)	204	△11
税引前四半期利益(△は損失)	1,797	△1,087
法人所得税費用	△826	△810
四半期利益(△は損失)	971	△1,897
四半期利益(△は損失)の帰属		
親会社の所有者	1,126	△1,032
非支配持分	△154	△864
四半期利益(△は損失)	971	△1,897
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	39.95	△36.81
希薄化後1株当たり四半期利益(△は損失)(円)	39.69	△36.38

要約四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益(△は損失)	971	△1,897
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	442	1,825
資本性金融商品の公正価値測定	△178	64
項目合計	264	1,890
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△2,379	355
持分法によるその他の包括利益	△167	△106
項目合計	△2,547	248
税引後その他の包括利益	△2,283	2,139
四半期包括利益合計	△1,311	241
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	△1,119	756
非支配持分	△191	△515
四半期包括利益合計	△1,311	241

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の構成要素			合計
					確定給付制 度の再測定	資本性金融 商品の公正 価値測定	在外営業活 動体の換算 差額	
期首残高	4,366	13,054	47,083	△139	△1,704	475	△139	△1,367
会計方針の変更による 累積的影響額	—	—	△9	—	—	—	—	—
会計方針の変更を反映した 当期首残高	4,366	13,054	47,073	△139	△1,704	475	△139	△1,367
四半期利益	—	—	1,126	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	228	△178	△2,296	△2,246
四半期包括利益合計	—	—	1,126	—	228	△178	△2,296	△2,246
配当金	—	—	△366	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	6	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△366	6	—	—	—	—
四半期末残高	4,366	13,054	47,834	△133	△1,476	297	△2,435	△3,614

	親会社の所有 者に帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
期首残高	62,996	6,967	69,964
会計方針の変更による 累積的影響額	△9	0	△9
会計方針の変更を反映した 当期首残高	62,987	6,967	69,955
四半期利益	1,126	△154	971
その他の包括利益	△2,246	△36	△2,283
四半期包括利益合計	△1,119	△191	△1,311
配当金	△366	△6	△372
自己株式の取得	△0	—	△0
自己株式の処分	6	—	6
所有者との取引額合計	△360	△6	△366
四半期末残高	61,507	6,769	68,277

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	その他の資本の構成要素							
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	確定給付制 度の再測定	資本性金融 商品の公正 価値測定	在外営業活 動体の換算 差額	合計
期首残高	4,366	13,054	47,564	△253	△3,668	△80	△3,036	△6,785
四半期利益(△は損失)	—	—	△1,032	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	1,456	64	268	1,789
四半期包括利益合計	—	—	△1,032	—	1,456	64	268	1,789
配当金	—	—	△364	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	8	—	—	—	—
その他の非支配持分の増減	—	△125	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	—	—	0	—	—	△0	—	△0
所有者との取引額合計	—	△125	△364	8	—	△0	—	△0
四半期末残高	4,366	12,928	46,166	△244	△2,211	△16	△2,768	△4,996

	親会社の所有 者に帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
期首残高	57,946	5,326	63,272
四半期利益(△は損失)	△1,032	△864	△1,897
その他の包括利益	1,789	349	2,139
四半期包括利益合計	756	△515	241
配当金	△364	—	△364
自己株式の取得	△0	—	△0
自己株式の処分	8	—	8
その他の非支配持分の増減	△125	125	—
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	—	—	—
所有者との取引額合計	△482	125	△356
四半期末残高	58,220	4,936	63,157

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益(△は損失)	1,797	△1,087
減価償却費及び償却費	7,713	7,003
金融収益	△88	△79
金融費用	444	409
持分法による投資損益(△は益)	△204	11
有形固定資産売却損益(△は益)	△44	△66
有形固定資産廃棄損	42	92
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	△69	△8,854
棚卸資産の増減(△は増加)	△4,594	△2,247
営業債務の増減(△は減少)	△785	4,783
退職後給付に係る負債の増減(△は減少)	△6	△370
その他	2,428	3,390
小計	6,633	2,985
利息の受取額	16	28
配当金の受取額	128	160
利息の支払額	△444	△418
法人所得税の支払額	△855	△637
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,478	2,118
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,611	△4,771
有形固定資産の売却による収入	228	109
無形資産の取得による支出	△30	△21
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	—	△1,911
その他の金融資産の取得による支出	△32	△25
その他	19	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,427	△6,671
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,156	△8,118
長期借入れによる収入	5,473	9,476
長期借入金の返済による支出	△5,762	△5,570
リース負債の返済による支出	△375	△387
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	6	8
配当金の支払額	△366	△364
非支配持分への配当金の支払額	△6	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	125	△4,956
現金及び現金同等物に係る換算差額	△69	△69
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	106	△9,579
現金及び現金同等物の期首残高	2,438	12,704
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,545	3,125

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1. 報告セグメントの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	連結
	日本	北米	中国	アジア・大洋州	合計		
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	21,413	38,331	21,013	11,635	92,394	—	92,394
セグメント間の内部売上収益	4,956	295	419	112	5,784	△5,784	—
計	26,370	38,627	21,432	11,748	98,178	△5,784	92,394
セグメント利益又は損失(△) (税引前四半期利益(△は損失))	815	96	1,783	△609	2,085	△287	1,797

(注) 1. セグメント間の内部売上収益は、総原価を勘案し、価格交渉のうえ決定した取引価格に基づいております。

2. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益消去額であります。また、セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間の内部利益消去額であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	連結
	日本	北米	中国	アジア・大洋州	合計		
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	17,192	24,442	24,963	4,850	71,450	—	71,450
セグメント間の内部売上収益	3,373	286	66	65	3,792	△3,792	—
計	20,566	24,729	25,029	4,916	75,242	△3,792	71,450
セグメント利益又は損失(△) (税引前四半期利益(△は損失))	485	△1,775	2,097	△1,685	△877	△209	△1,087

(注) 1. セグメント間の内部売上収益は、総原価を勘案し、価格交渉のうえ決定した取引価格に基づいております。

2. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益消去額であります。また、セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間の内部利益消去額であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結会計期間から東風愛機汽車プレス部品有限公司を持分法適用会社を含め、「中国」に加えております。なお、「中国」のセグメント利益には持分法による投資利益を含んでおります。